

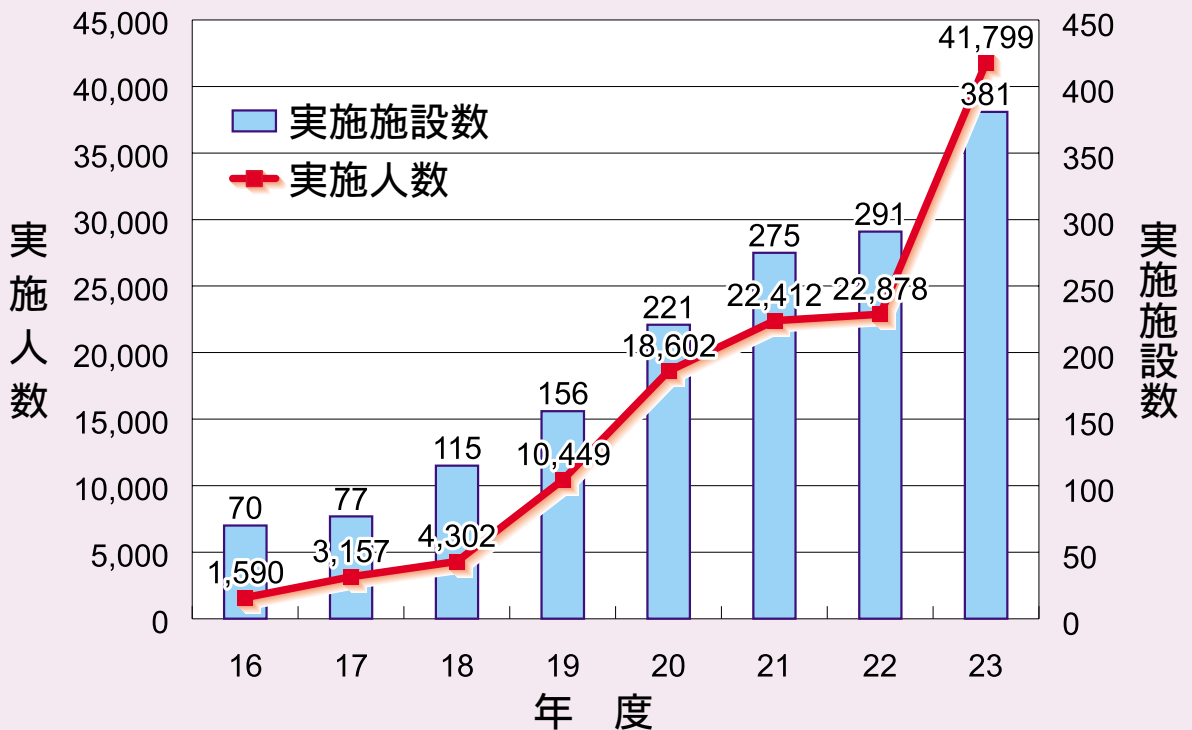
# 歯ツピー通信

## 第七号

### フッ化物洗口 実施人数4万人を突破！

秋田県は全国と比較し、子どものおし歯が多い状態が続いています。そこで県はその予防対策として、平成16年から幼稚園・保育所、小中学校での集団フッ化物洗口事業を開始しました。そして平成23年度末で381の施設で、合計41,799人の子ども達がフッ化物洗口に取り組んでいます。

施設毎の実施率では、幼稚園・保育所が47%、小学校で63%、中学校では35%が既に実施しています。共に全国的にはトップクラスの実施率まで上がってきました。



# 全国では8,584施設、891,655人が集団でフッ化物洗口をしています。 (2012.3月現在)

2年前の調査から1,104施設、114,059人増加しました。全国1,742市(区)町村のうち799市(区)町村、45.9%の自治体で実施しています。ベストテン①愛知県12.1万人②京都府③新潟県④佐賀県⑤秋田県⑥静岡県⑦山口県⑧岐阜県⑨富山県⑩島根県。  
この2年間で最も増加したのが秋田県(1.9万人以上)でした。

都道府県別における集団応用でのフッ化物洗口実施施設数、実施人数ならびに実施市町村数(2012年3月現在)

NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議、WHO口腔保健協力センター、公益財団法人SD20推進財団共同調査

都道府県名	実施施設数	実施人数	実施市町村数	都道府県名	実施施設数	実施人数	実施市町村数	都道府県名	実施施設数	実施人数	実施市町村数
北海道	414	20,791	90 (179)	石川	29	663	4 (19)	岡山	26	3,543	2 (27)
青森	33	5,486	1 (40)	福井	28	952	12 (17)	広島	47	1,687	10 (23)
岩手	133	5,506	21 (33)	山梨	17	672	4 (27)	山口	258	37,928	13 (19)
宮城	135	7,289	8 (35)	長野	178	26,613	19 (77)	徳島	6	159	2 (24)
秋田	281	41,799	21 (25)	岐阜	195	33,015	25 (42)	香川	115	19,406	16 (17)
山形	92	9,707	10 (35)	静岡	582	41,364	26 (35)	愛媛	180	23,127	19 (20)
福島	79	8,666	11 (59)	愛知	782	121,629	46 (54)	高知	101	4,249	16 (34)
茨城	4	256	3 (44)	三重	66	2,260	16 (29)	福岡	43	3,405	15 (80)
栃木	100	15,977	14 (28)	滋賀	91	11,327	7 (19)	佐賀	469	63,152	19 (20)
群馬	81	3,810	14 (35)	京都	356	96,804	12 (26)	長崎	184	9,402	13 (21)
埼玉	126	20,456	30 (63)	大阪	17	1,078	4 (43)	熊本	383	13,319	38 (45)
千葉	125	11,148	14 (54)	高松	277	12,632	13 (41)	大分	65	2,356	13 (18)
東京	12	1,320	5 (62)*	奈良	50	3,545	20 (39)	宮崎	292	22,843	22 (26)
神奈川	26	1,375	3 (33)	和歌山	116	10,623	20 (30)	鹿児島	197	7,125	31 (43)
新潟	929	93,002	26 (30)	鳥取	86	2,713	16 (19)	沖縄	188	7,564	25 (41)
富山	226	31,989	10 (18)	島根	262	28,722	18 (19)	<b>Total</b>	<b>8,584</b>	<b>891,655</b>	<b>799 (1,022)*</b>

( )内は市町村数、\*の( )内は23特別区を含む市市区町村数

## 秋田県内でのフッ化物洗口の効果

フッ化物洗口実施の有無による小学校6年生の一人平均むし歯本数の比較

期洗口開始時	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	減少率 (対H16年度比)
東成瀬村 (H16より実施)	2.94	3.23	2.78	2.00	1.73	1.89	1.41	56.3%
旧増田町 (H17より実施)	1.72	2.53	1.81	2.30	2.00	0.95	1.10	56.5%
旧十文字町 (H17より実施)	2.56	2.35	2.16	2.00	1.53	1.42	0.88	62.6%
A市※ (実施前)	1.96	1.82	1.86	1.75	1.67	1.54	1.52	16.5%
O市 (未実施)	2.04	2.35	1.99	2.11	2.11	2.21	2.09	11.1%
全県平均	2.19	1.96	1.81	1.78	1.67	1.59	1.50	23.5%

※秋田県の学校体育・健康教育資料集(秋田県教育委員会)より抜粋

※旧増田町のデータは横手市増田地域局のデータより抜粋

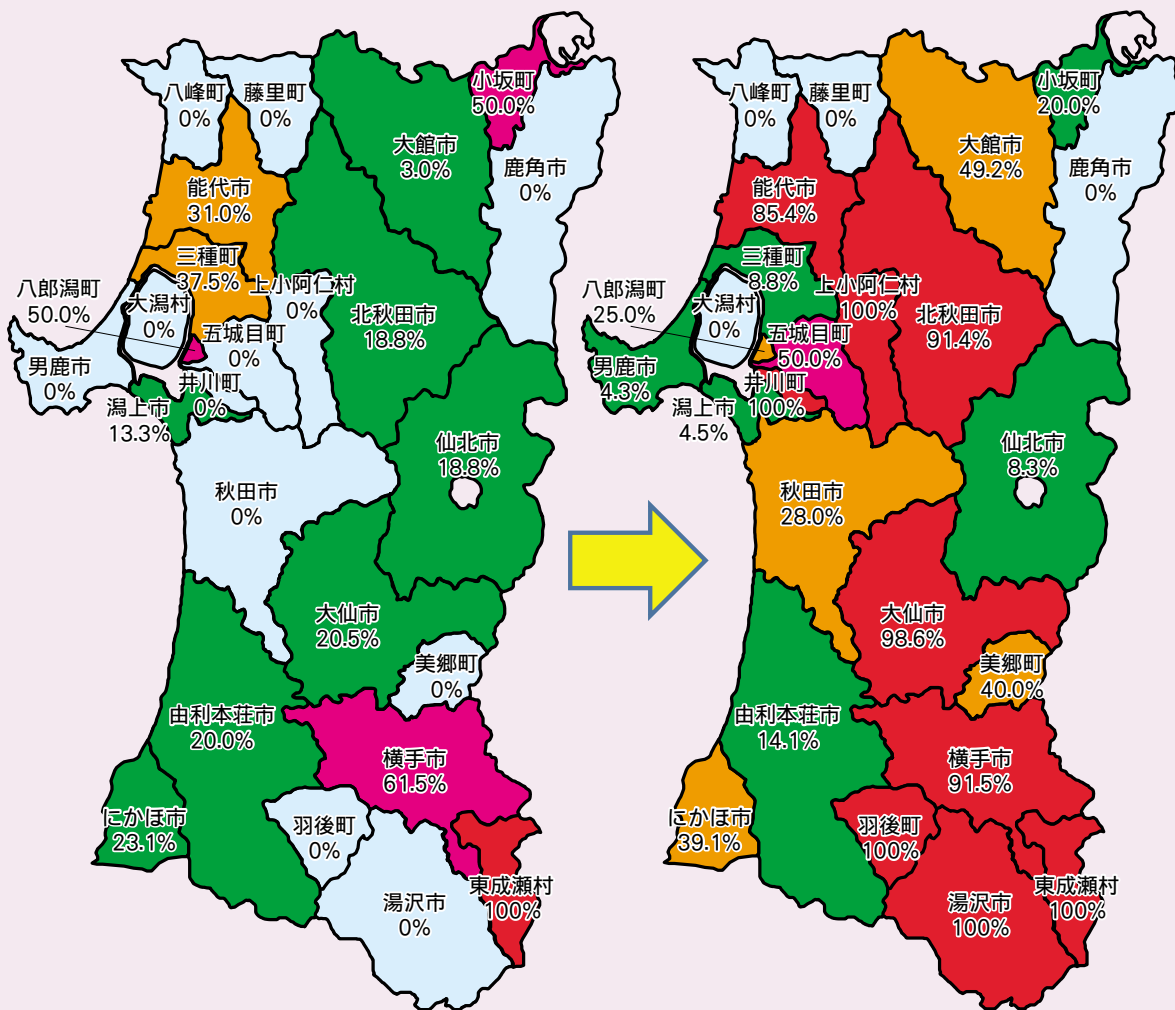
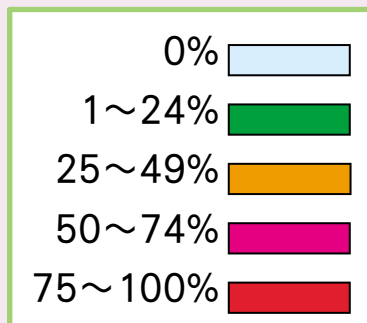
※旧十文字町のデータは松野歯科医院松野才氏(学校歯科医師)のデータより抜粋

※A市については、H23年度から実施

- 平成16、17年度より、フッ化物洗口を開始した東成瀬村、旧増田町、旧十文字町では、むし歯の減少率が50パーセントを超えています。つまりむし歯が5年間で半減しました。一方、未実施市では、その減少率は10パーセント台にとどまっています。

## 市町村毎の実施率の推移

事業が開始され7年が経過し、実施市町村は、着実に増加しています。ほぼ100%実施の市町村が増えましたが、一方全く行われていない市町村もあり、実施における地域格差が顕著になりつつあります。これが将来子ども達の健康格差につながる懸念があります。



平成17.3.31現在

平成24.3.31現在

## 第2大臼歯を守ろう！



### フッ化物洗口は、中学卒業まで続けましょう

- 上の写真は15歳・中学生のお口の写真です。赤丸の歯は、第2大臼歯といって小学校高学年～中学3年にかけてゆっくり生えてきます。親知らずを除いて最も遅く生える歯ですが、統計では最も寿命が短い歯でもあります。その理由は、奥に生えているため歯ブラシが届きにくいいため歯垢が付着し、その結果むし歯や歯周病が進行し、早期に抜歯されるケースが多いためです。
- 中学生活では、勉強や部活動のなどが忙しくなり、歯磨きがおろそかになったり、またスポーツ飲料や炭酸飲料などの摂取回数がふえることもあり、生え始めた第2大臼歯にとっては、むし歯になる危険性が高まる時期でもあります。
- したがって、28本の永久歯を長くむし歯から守るためには、永久歯が生え始める5歳から生えそろう15歳・中学卒業までの10年間、フッ化物洗口を続けることが大切です。
- その効果は、大人になってからも長く続きます。中学までフッ化物洗口によって、むし歯で歯を失う危険を格段に低くできることもわかっています。

#### ご質問・ご意見はこちらまで

発行：秋田県歯科医師会 〒010-0941 秋田市川尻字大川反170番地102

TEL 018-865-8020 FAX 018-862-9122

<http://www.akita-da.or.jp/index.html> E-mail: [madoguchi@akita-da.or.jp](mailto:madoguchi@akita-da.or.jp)

協賛：秋田県、秋田県歯科衛生士会